



2025 年度 8月1日 発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1

毎日、暑い日が続いていますね。時々、雷を伴う雨も見られます。園では環境省が出している暑さ指数（WBGT）や雷注意報を確認し、水遊びや外遊びを検討して安全に配慮しています。水遊び等のお着替えの際には、先月、保健教育でお話したことを思い出しながら、プライベートパーツに配慮した行動が見られています。引き続き、子どもたちが安全で楽しく健康に過ごせるようにしていきたいと思いますので、ご家庭でも、睡眠時間をしっかり取り、朝ごはんをしっかり摂る等の体調管理のご協力をお願いいたします。いつもと変わった様子があればお知らせくださいね！

《先月の感染症情報》

新型コロナウイルス感染症・・・2名
インフルエンザA・・・・・・3名
流行性角結膜炎・・・・・・1名

～気を付けよう！こどもの事故～

夏になると海に行ったり水遊びをしたりする機会も多くなります。子どもからは目を離さず、事故には十分に気を付けましょう！



夏に気を付けたい皮膚の病気



①虫刺され



乳幼児は体温が大人よりも高く、蚊に刺されやすい傾向があります。個人差はありますが、皮膚アレルギー反応を起こし、かゆみや赤くはれることがあります。かゆみにより、かいて皮膚を傷つけてしまうと、症状を悪化させたり、とびひになることもあるので、虫よけスプレーの利用や、刺された場合はすぐに水で洗い流す等の対応をしましょう。園では予防として、レモングラススプレーを使用しています。蚊に刺された場合は、水洗いをし、かゆみが強い場合は冷やしたりベビームヒ（使用可能な園児のみ）を塗ったりしています。

ハチは、夏から秋にかけて活動が盛んになり、ハチ刺され事故は8～9月に集中しています。黒いものに向かっていく習性があるので、戸外活動には、黒色の帽子や服を避けると良いでしょう。もし刺されたらすぐに、針が残っていないか調べ、あれば取り除き水で洗って冷やしましょう。腫れや痛みがひどい時は受診しましょう。園で刺された場合は状況に応じて受診します。

②水いぼ（伝染性軟属腫）

水いぼは、半年から1年経過すると95%近くが自然治癒するので、治療として摘出するか、経過観察するかは、保護者が主治医と相談して決めましょう。化膿している水いぼに関しては受診をお願いします。かき壊して傷がある場合は、水遊びは控えた方が良いでしょう。